

本日の授業及び 単元の学習指導と評価について

授業者

上川教育研修センター 研究員

石塚 大輔（美瑛町立美瑛東小学校）

研究内容(3) 単元の指導計画・評価計画

検討

資質・能力の育成を考えた時、この評価場面の位置付けは妥当か？

指導をしないと評価はできないという考えから、指導→記録というサイクルになるよう位置付けました。

【評価計画のイメージ図】

	知・技		思・判・表		主
	知①	知②	思①	思②	
1・2・3		指導			指導
4・5	指導		指導		
6				指導	指導
7	記録		記録		
8				記録	記録
9・10		記録			

スイミー

「おはなしどうぶつえん」をつくって、本をしようかいしよう



研究内容(3) 単元の指導計画・評価計画

【主体的に学習に取り組む態度の
評価規準】

進んで、**場面の様子に着目して、
登場人物の行動を想像し、学習課
題に沿って、内容や感想を伝えよ
うとしている。**

思考・判断・表現②と
一体的に見取ること
で、特に粘り強さについて評
価できるよう、評価計画
を構築しました。

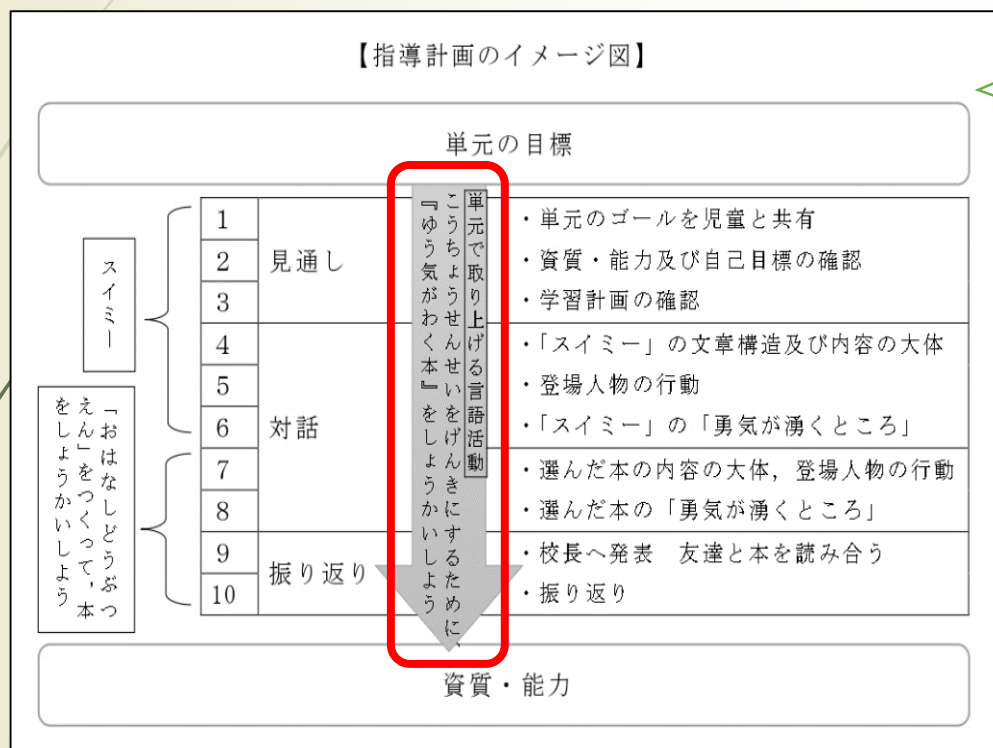
特に、粘り強さを発揮
してほしい内容

【評価計画のイメージ図】

	知・技		思・判・表		主
	知①	知②	思①	思②	
1・2・3		指導			指導
4・5	指導		指導		
6				指導	指導
7	記録		記録		
8				記録	記録
9・10		記録			

※青字：自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動

研究内容(3) 単元の指導計画・評価計画



検討

資質・能力と言語活動の関連は適切か？

年間指導計画を考慮し、2つの「読むこと」領域の学習を複合化し、重点を置いて単元の目標を設定しました。

単元で身に付ける資質・能力を児童と共有し、学習を展開するようにしました。



研究内容(3) 単元の指導計画・評価計画

検討

3つの場面での振り返り
 (①見通し②把握・修正③
 成果・今後)によって、自
 己調整の力は高まってい
 と言えるか？

振り返りの場面を焦点化すること
 で、それぞれの学習過程に合わせた
 振り返りを効果的に行いたいと考え
 ました。中学年以降の「自らの学習
 を調整しようとする側面」の基礎を
 築くことが期待できます。



こくご 「スイミー」
「おはなしどうぶつえん」をつくって、本を しょうかいしよう。

名まえ

スイミーの ようすや こうどうを
そうぞうする。

そのためには—

こうちようせんせいを げん気にする
ために、「ゆうきがわく 本」を
しょうかい しよう。

みにつける ちから

じぶんの めあて

+

1・2・3じかん 【みとおし】	4・5・6・7・8じかん 【ゆうきが わく ポイント】	9・10じかん 【こうちようせんせいに しょうかい】
がくしゅう ・ふりがえりシート ・みにつけるちから ・じぶんのめあて ・しょうかいしたい 本を えらぶ みにつけるちから ・みとおしを もつ ・いろいろな 本が あることを しる ふりかえり	・ものがたりの できごと ・どうしようぶつ の こうどう ・ゆうきが わく ポイントは どこ ・ものがたりの 大いさを つかむ ・どうしようぶつ の ようすや こうどうを、そうぞうする	・しょうかいの れんしゅう ・こうちようせんせいに しょうかい ・ともだちの えらんだ 本の よみあい ・どくしょに したしむ ・ふりがえりを する
スタート	ゴール	ゴール
スイミー	「おはなし どうぶつえん」をつくって、本を しょうかいしよう。	

・わかった
・できた
・ふん

こと
せ
た
考
え
学
習
を

かいの がくしゅうを おえて…
えるようになったこと「もっとやってみたいこと」は？

みにつける ちから は？
じぶんの めあて は？

研究内容(4) 観点ごとの総括について

本時における「主体的に学習に取り組む態度」の具体的な見取り方と支援策について

- 〈何を〉
 - ・ 叙述に着目したり，友達と交流したりして，「勇気が湧く場面」をどこにするか粘り強く考えることができるか。
- 〈どこで〉
 - ・ 自分なりに考えをもつ場面
 - ・ 友達の考えを交流する場面
- 〈何で〉
 - ・ Google Jamboardの記述，観察
- 〈手立ては〉
 - 1 挿絵などを活用し，物語の序盤と終盤でスイミーの行動が異なることを確認させる。
 - 2 主な出来事など，大まかな文章の構造や，スイミーの序盤と終盤の行動の違いを確認させる。
 - 3 友達との交流を通し，場面を選んだ理由を考えさせる。

〈何を〉 本時の「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準です。何をしている姿なのか，具体を明文化しました。

〈どこで〉 本時の評価場面です。本時では，設定した2つの場面で，粘り強い取組を行おうとする姿を見取ることができると考えました。

〈何で〉 評価方法です。Jamboardの記述や，発言などの観察を中心に見取りました。

〈手立ては〉 本時でつまずきが予想される場面について，手立てを事前に準備しました。



研究内容(4) 観点ごとの総括について

- 本時における「主体的に学習に取り組む態度」の具体的な見取り方と支援策について
- ＜何を＞
 - ・ 叙述に着目したり、友達と交流したりして、「勇気が湧く場面」をどこにするか粘り強く考えることができるか。
 - ＜どこで＞
 - ・ 自分なりに考えをもつ場面
 - ・ 友達の考えを交流する場面
 - ＜何で＞
 - ・ Google Jamboardの記述、観察
 - ＜手立ては＞
 - 1 挿絵などを活用し、物語の序盤と終盤でスイミーの行動が異なることを確認させる。
 - 2 主な出来事など、大まかな文章の構造や、スイミーの序盤と終盤の行動の違いを確認させる。
 - 3 友達との交流を通し、場面を選んだ理由を考えさせる。



「主体的に学習に取り組む態度」（粘り強さ）と「思考・判断・表現②」を一体的に見取るため、勇気が湧く場面をどこにするか考えている姿で評価できると考えました。

研究内容(4) 観点ごとの総括について

- 本時における「主体的に学習に取り組む態度」の具体的な見取り方と支援策について
- ＜何を＞
 - ・ 叙述に着目したり、友達と交流したりして、「勇気が湧く場面」をどこにするか粘り強く考えることができるか。
 - ＜どこで＞
 - ・ 自分なりに考えをもつ場面
 - ・ 友達の考えを交流する場面
 - ＜何で＞
 - ・ Google Jamboardの記述、観察
 - ＜手立ては＞
 - 1 挿絵などを活用し、物語の序盤と終盤でスイミーの行動が異なることを確認させる。
 - 2 主な出来事など、大まかな文章の構造や、スイミーの序盤と終盤の行動の違いを確認させる。
 - 3 友達との交流を通し、場面を選んだ理由を考えさせる。



- 1 物語の序盤と終盤のスイミーの様子や行動が変化していることを捉えるには、物語の出来事を想像し、物語の流れをイメージする思考が必要です。1年生という発達段階を考慮し、板書の掲示物を活用し、イメージをもたせたいと考えました。
- 2 「勇気が湧くところ」を見付けるには、物語の流れや、登場人物の行動や様子を想像する必要があります。これまでに学んだことを確認させることで、自分なりの考えをもたせることができると考えました。

研究内容(4) 観点ごとの総括について

- 本時における「主体的に学習に取り組む態度」の具体的な見取り方と支援策について
- ＜何を＞
 - ・ 叙述に着目したり、友達と交流したりして、「勇気が湧く場面」をどこにするか粘り強く考えることができるか。
 - ＜どこで＞
 - ・ 自分なりに考えをもつ場面
 - ・ 友達の考えを交流する場面
 - ＜何で＞
 - ・ Google Jamboardの記述、観察
 - ＜手立ては＞
 - 1 挿絵などを活用し、物語の序盤と終盤でスイミーの行動が異なることを確認させる。
 - 2 主な出来事など、大まかな文章の構造や、スイミーの序盤と終盤の行動の違いを確認させる。
 - 3 友達との交流を通し、場面を選んだ理由を考えさせる。



- 3 「勇気が湧く場面」を見付け、「誰が」「何をした」という内容をおさえます。また、「どうしてその場面が『勇気が湧く』と思ったのか」という理由をもたせることで、「思考・判断・表現②」及び「主体的に学習に取り組む態度」を評価でき、資質・能力を身に付けさせることができると考えました。

これまでの学習の様子



ここからは、実際の児童の実態についてご紹介いたします。

まずは、単元導入時の校長先生からのメッセージビデオです。5つの言語意識の中でも、**相手意識と目的意識**を児童と共有したいと考えて、言語活動を設定しました。児童は大好きな校長先生に早く伝えたいという気持ちをもつと考えました。



これまでの学習の様子



続いては、単元で身に付ける資質・能力を基に、自己目標を設定する場面です。資質・能力を焦点化して児童に提示し、方向性がブレないように指導しました。また、個別に「**どうして、このめあてにしたの？**」「**どんな力が身に付くと、校長先生を元気にしてあげられるかな。**」などと声を掛け、児童の思いを言語化するサポートと、「指導に生かす評価」の両面を行いました。



これまでの学習の様子



導入時，児童に「校長先生に紹介する本」を選ばせました。図書室の膨大な図書から「勇気が湧く本」という目的に合った本を探して読む…というのは**低学年の資質・能力と合致しない**ため，町の図書館司書に依頼し，「勇気が湧く本」を事前に選定していただきました。そこから選ばせることにより，児童が**困り感をもつことなく学習に取り組むことができる**と考えました。



これまでの学習の様子



モデルを活用することで、児童と**ゴールのイメージを共有**することができ、児童は**見通し**をもって主体的に学習に取り組むことができると考えました。モデルを作成する際、**指導事項を明確にして、児童に何を気付かせたいかを意図的に組み込み**ました。また、モデルはグッドモデルとバッドモデルを準備し、比較させることで、よりグッドモデルの内容にせまることができると考えました。



バッドモデル



グッドモデル

これまでの学習の様子



モデルを活用することで、児童と**ゴールのイメージを共有**することができ、児童は**見通し**をもって主体的に学習に取り組むことができると考えました。モデルを作成する際、**指導事項を明確にして、児童に何を気付かせたいかを意図的に組み込み**ました。また、モデルはグッドモデルとバッドモデルを準備し、比較させることで、よりグッドモデルの内容にせまることができると考えました。

え、どこが勇気なの？

物足りない感じがする。

なんで、それを選んだのか…。

何々で、勇気が湧きそうとか…。



バッドモデル後の反応

これまでの学習の様子



モデルを活用することで、児童と**ゴールのイメージを共有**することができ、児童は**見通し**をもって主体的に学習に取り組むことができると考えました。モデルを作成する際、**指導事項を明確にして、児童に何を気付かせたいかを意図的に組み込み**ました。また、モデルはグッドモデルとバッドモデルを準備し、比較させることで、よりグッドモデルの内容にせまることができると考えました。

こっちの方がいい！



勇気が出るところをちゃんと言ってる。

勇気が出る場面をはっきり言ってる。



理由をちゃんと説明してる。

グッドモデル後の反応

これまでの学習の様子

振り返りは、3つの場面（①見通し②把握・修正③成果・今後）で行い、**それぞれの場面に合わせた振り返りを焦点化して行う**ことで、自らの学習を調整しようとする側面を評価することができると考えました。

本時では、教材が切り替わる場面ということもあり、「『スイミー』で身に付けた資質・能力を発揮して、自分が選んだ本でも勇気が湧く場面を見付けられそうか？」という視点で振り返らせたいと考えました。



これまでの学習の様子（前時）



前時では、「話の流れをつかもう」という課題で、内容の大体を捉える学習を行いました。

子どもたちは、言語活動である「校長先生を元気にするための『勇気が湧く本』を紹介する」という目的のため、「**スイミーは練習で、選んだ本の紹介が本番**」という意識をもって学習に取り組みました。

これは、前時終了直後の、ある児童の発言です。



本の紹介は、ちょっと難しいから…。



本日は、ご忌憚のない意見を
頂戴できれば幸いです。
よろしくお願いいたします。

上川教育研修センター 研究員
石塚 大輔（美瑛町立美瑛東小学校）